

子どもの本や、子どもの読書活動の県内外の情報をお届けします！
山梨県立図書館 TEL 055-255-1040 <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

★特集 子ども達に読んでほしい富士山の本 一祝！世界文化遺産登録★

富士山の世界文化遺産登録を記念して、構成資産を有する県内の5つの自治体（忍野村、富士河口湖町、富士吉田市、身延町、山中湖村）の図書館の方に、子ども達に読んでほしい富士山の本を推薦して頂きました。



富士山や忍野八海の成り立ち、富士山のご神体のことがわかる本から、山梨県出身の富士登山ガイドが書いた本まで、様々な本が挙げられました。学校や図書館の読み聞かせ、授業などで、ぜひご活用ください。

障害に応じた絵本の選び方のヒントがわかる冊子

『特別支援学校での読み聞かせ』

(東京都立多摩図書館/執筆・発行 2013年)

●どんな冊子？

特別支援学校や、特別支援学級で読み聞かせを行う方への手引きです。東京都立多摩図書館が8年間の実践を基に作成しました。

「障害を持つ子ども達への読み聞かせ方法や本選びをどのようにしたらよいか？」と情報を求めている方におすすめです。

●内容は？

- ・6つの読み方（「寄り添って読む」「一部分を読む」「読んだことを体験する」など）を提案しています。
- ・子ども達の障害（「知的障害・肢体不自由」「聴覚障害」「視覚障害」）に合わせて絵本が紹介されています。
- ・読み方のアドバイス（例：「鳴き声に興味を示す子供が多いので、鳴き声はしっかりと読みます。」）や、子供の反応（例：「ツンツン」と言い始めました。）が具体的に書かれています。



○冊子を読みたい方は

- ・県立図書館で所蔵しています。遠方の方は、地元の市町村立図書館に取寄せをお申ください。
- ・販売や配布は行っていませんのでご注意ください。
- ・インターネットでも見ることができます。東京都立多摩図書館のホームページへアクセスし、「学校の読書支援のページ」をご覧ください。

http://www.library.metro.tokyo.jp/reference/tama_library/a/school_support/tabid/651/Default.aspx#tokubetusien
(2013.9.13 アクセス)

●●● 活動紹介 ●●● どうぶつのおはなし会

笛吹市石和図書館では、毎週土曜日「耳をすませば絵本隊」で絵本の読み聞かせ等を行っています。その中で年2回、日本愛玩動物協会山梨県支部に依頼し、動物が登場する絵本の読み聞かせや折り紙を通して動物の飼い方等を子ども達に伝える「どうぶつのおはなし会」を行っています。会の活動内容をご紹介します。

●● どうぶつのおはなし会とは？ ●●

3年前から始まったおはなし会。子ども達に動物に興味を持ってもらうきっかけ作りと、動物をかわいがるとはどういうことを伝えることを目的としています。



●● いつ、誰を対象に開催しますか？ ●●

石和図書館のおはなし会「耳をすませば絵本隊」の中で、年2回開催します。午前11時からと午後2時からの2回。約30分で参加は無料です。対象は小学校低学年～中学年ですが、小さい子ども達の参加が増えています。

●● 読み聞かせの絵本の選び方は？ ●●

「動物をちゃんと最後までかわいがろうね」ということを伝える本を選びます。動物は、犬や猫にかかわらず、家庭で飼える身近な動物や、動物園で見ることができる動物まで取り上げます。また、絵本だけではなく図鑑なども紹介します。各回3冊読み聞かせしています。

●● おすすめの絵本を教えてください ●●

『うんちしたのはだれよ!』（ヴェルナー・ホルツヴァルト文 ヴォルフ・エールブルッフ絵 関口裕昭訳 偕成社 1993年）は子ども達が大好きな絵本で、読み聞かせに使います。もぐらの頭に落ちてきたうんちは、犬のものだったという結末の本なので、犬のうんちを片づけるというマナーのお話もします。

●● 小学校や図書館などに出張して、どうぶつのおはなし会をしてくれますか？ ●●

要相談の上決めますので、日時や希望内容を下記の問い合わせ先までお知らせください。

▼△ 7月27日（土）のどうぶつのおはなし会に参加しました ▼△

* プログラム *

- 1 『ゆうたはともだち』
きたやまようこ作 あかね書房 2007年
- 2 『しっぽのはたらき』
川田健ぶん 藪内正幸え 今泉吉典監修 福音館書店 1972年
- 3 『タンゲくん』
片山健作 福音館書店 1992年
- 4 折り紙（犬、猫）

午前11時からの会には7人が参加しました。日本愛玩動物協会山梨県支部事務局の3の方が交代で読み聞かせをします。今日の絵本は犬の絵本、いろいろな動物のしっぽの働きがわかる本、猫の絵本です。

読み聞かせの後には、登場した動物のお話を聞くことができます。例えば、犬が登場する『ゆうたはともだち』ではぬいぐるみの犬を使い「毛をとかしてあげることも、犬をかわいがることになる」とケアの仕方を教えてくれました。また、『しっぽのはたらき』では、ぬいぐるみの犬と猫のしっぽを見せながら、「しっぽの動きで気持ちを表すので観察してみるとおもしろいですよ。」と動物のしぐさの意味を伝えてくれました。最後は点線に沿って約5回折るだけの簡単折り紙。犬の顔と猫の顔ができました。



どうぶつのおはなし会 問い合わせ先

日本愛玩動物協会山梨県支部事務局
TEL 055-261-8201
Email shibu.yamanashi-req8@jpc.or.jp